

事業報告書

第 6 2 年 度

(令和 6 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日)

1. 事業の概要

わが国は、生活環境の改善や医学の進歩にともない、急速に人口の高齢化が進み、令和 5 年簡易生命表によると、男性の平均寿命は81.09年（前年比+0.04年）、女性の平均寿命は87.14年（前年比+0.05年）と、前年よりも延びている。平均寿命の前年との差を死因別に分解すると、男女とも、悪性新生物の死亡率低下が平均寿命を延ばす方向に働いているが、心疾患（高血圧性を除く）、脳血管疾患、老衰などの死亡率変化は平均寿命を縮める方向に働いている。

また、令和 5 年人口動態統計（確定数）によると、生活習慣に起因するとされる悪性新生物、心疾患、脳血管疾患による死亡者数は全死亡者数の45.6%を占めている。これらの疾患は、社会的・家庭的に重要な立場にある働き盛りの人に発症することが多く、生活習慣病の予防対策が重要性を増している。

このため、わが国においては老人保健法（昭和57年）の制定以降、4次にわたる計画に基づき壮年期から高齢期にいたる予防対策を推進し、その後も、健康増進や疾病予防に係る数値目標を定めた「21世紀における第三次国民健康づくり運動（健康日本21（第三次））」（令和 6 年～17年度）や、「健康増進法」の施行、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防に着目した「特定健康診査・特定保健指導」の導入など、国民の生活習慣病予防への取り組みを強化している。

本会では、昭和38年の設立以来、特に病院・診療所が少ないために保健医療サービスを受けにくい農山村地域住民に対して、生活習慣病予防のための知識の普及を行うとともに、生活習慣病検診車や検診用機器の整備充実を図り、検診事業の促進と公衆衛生の向上に努めてきた。

本年度においては、特に次の活動を実施した。

(1) 生活習慣病予防に関する啓発活動

- ① 厚生労働省が行った「健康増進普及月間」等の啓発運動に協力した。
- ② 長野県厚生農業協同組合連合会が主催する「農村医学夏季大学講座」に対し、後援を行った。
- ③ 「健康日本21推進全国連絡協議会」の活動（リーフレット、健康手帳の配布）に協力し、健康日本21の推進に努めた。
- ④ 生活習慣病に関する知識の普及及び啓発を目的に「生活習慣病のしおり」を作成・配布した。

(2) 生活習慣病検診車の整備

- ① 生活習慣病の早期発見に寄与するため、（公財）JKAに「補助金交付要望書」を提出した。